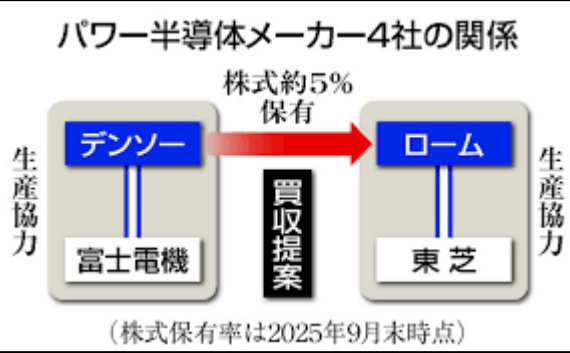


# NMO OfficeLetter

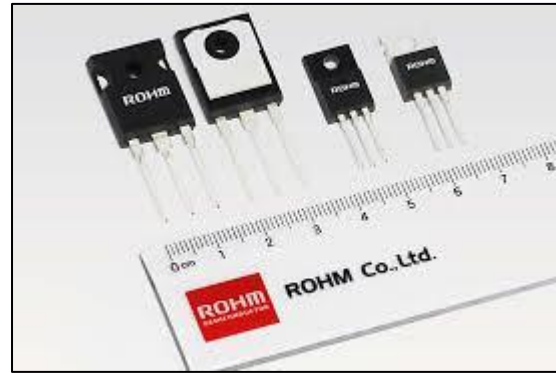
## デンソーがロームに買収提案

トヨタ系の車載部品製造大手のデンソーが半導体製造大手の京都市右京区のロームに買収案を提示した。全株取得の提案で買収総額は1兆3000億円規模になると思われる。突然のように思えるが、両社は以前から半導体分野で深い提携関係があり、2025年には戦略的パートナーシップの基本合意を結んでいる。これまでも製品の開発、資本提



携などを進めており、非常に親しい関係にあった。デンソーはロームの約5%の株式を保有する筆頭株主でもある。  
 <解説> 買収提案をもちかけた背景には、今後の電気自動車EVに搭載する電力変換に欠かせないパワー半導体製造のノウハウの取得がある。ロームの発行株式のこの時点での時価総額は1兆1000億円前後。デンソーが全株取得をすれば株式公開買い付けTOBになり、上乘せのプレミアムを含め資金総額は1兆3000億円程度になると予想

される。国内企業同士の買収案件としては有数の巨額案件になりそうだ。しかし、ロームは2023年に東芝と生産で連携すると発表済み。しかし、東芝の中国子会社との関係で、必ずしも東芝とロームの関係は順調ではなかったと言われる。なお、東芝は2023年に日本産業パートナーズからTOBを実施されており、その際の買収額は約2兆円と言われている。今回の当事者の企業規模をみると、(以下先にデンソー、後にローム)創業は1949年と1958年、連結売上高で7兆円と4500億円、連結



順位	世界シェア
1位	インフィニオン・テクノロジーズ(独) 22.8%
2位	オンセミ・コンダクター(米) 11.2
3位	STマイクロエレクトロニクス(スイス) 9.9
4位	三菱電機 5.5
5位	富士電機 4.9
6位	ピシエイ・インターテクノロジー(米) 3.6
7位	ネクスベリア(オランダ) 3.4
8位	ローム 3.2
9位	東芝 3.2
10位	ヤンチョウ・ヤンジェ・エレクトロニク・テクノロジー(中国) 2.2

国内4社の合計 16.8

※英調査会社オムディアの資料から作成。8位のロームは売上高が9位の東芝を上回る

純資産で5兆円と9000億円、従業員数で16万人と2万人であり、事業規模ではデンソーがロームの5倍～10倍の違いがあり、逆に比率では妥当な組合せと言えるのではないだろうか。買収のシナジー効果はパワー半導体分野が主になるが、これはEVに限らず今後の成長分野として戦略的に取り込んでおくことに意味があるだろう。デンソーもトヨタ系列ではあるが独自の電気部品、車載製品の製造ではトップ企業であり、今後独自路線を歩むにしてもパワー半導体の技術は欠かせない。今後の展開は見通せないが、ここまで情報を公開するということは事態は相当進んでいると見ていい。今後産業構造の再編の中で、今回の大型合併、買収案がどう進むか注目される。今後この分野では生き残りをかけて巨額の設備投資が必要となる。その際に単独で生き残れる企業は少ないだろう。早くも、大手企業同士の合従連衡が始まった。しばらく騒々しいだろう。